

平成25年3月23  
日

在宅医療連携拠点事業  
事業成果報告会



～因島医師会の  
在宅医療・介護への取り組みについて  
～



因島医師会病院	地域医療連携室
室長 医師	巻幡 栄一
○主任 社会福祉士	豊永 智和
看護師	岡野史

# 因島・瀬戸田地域の概要

- 広島県の東部の島嶼部  
(しまなみ海道にて尾道と直結)
- 人口 34,254人 高齢化率 36.58% (平成24年12月未)  
尾道市のホームページより
- 因島地区：因島医師会 瀬戸田町：三原市医師会
- 病院 2ヶ所 診療所 21ヶ所
- 特徴：島嶼部の為、介護サービスが不足している。介護サービス事業所が限られている。元々は造船業で栄えていたが現役世代は島外に出ることも多く独居の高齢者が多い。多職種連携会議でも認知症及び高齢者のみの世帯の方々への対応に苦慮することが多いとの意見が多かった。

# 因島医師会が目指した病診連携下での地域包括ケア

当院は医師会立の開放型病院であり、以前より地域の医療機関と密接な連携の中で診療を行ってきた。開業医である、かかりつけ医が外来から入院、退院後外来と一人の患者様を一貫して診ることのできるシステムを構築している。入院中もかかりつけ医が当院勤務医と共同診療を行うことで患者様に安心感を持って頂けるとともに在宅復帰へのアプローチにも繋がっている。

更に、診療所の看護師等が介護支援専門員の資格を取得しケアマネジメント業務も行うため、普段の診療から医療・介護の連携が図れる支援体制を目指している。

その他の事業所ともカンファレンスを行うことにより医療・介護の連携が図られている。

# 病診連携による支援体制

## 因島医師会病院【開放型病院】

- ・急性期病棟（亜急性期）
- ・回復期リハビリテーション病棟
- ・障害者等病棟

### ★退院前カンファレンスを開催

開業医（主治医機能）  
共同診療

紹介・逆紹介

入院中も開業医が  
来院し当院勤務医  
と共同診療を行う。

★医療の現場が介護の現場という考え。  
診療所の看護師等が介護支援専門員を取得！  
普段は看護師等として診療の補助を行って  
おり普段業務の中で、情報共有が図られている。  
往診や診察がサービス担当者会議の場に！

因島医師会在宅ケアセンター  
因島医師会ケアマネステーション  
因島医師会訪問看護ステーション  
因島医師会ヘルパーステーション  
尾道市南部地域包括支援センター

因島医師会ケアマネステーションの  
【非常勤職員】として活動

★同一フロアで普段からディスカッションが行われている。

# 因島・瀬戸田地域で目指す地域包括ケアシステム

## 1. 個人の自立とQOLの追求が可能となるよう、**医療や介護を通じた個々人の心身状態にふさわしいサービスを切れ目無く提供**

- ・ 医療の現場が、介護の現場という考え
- ・ 多職種協働によるケアカンファレンス手法に基づくアプローチ

## 2. **独居、夫婦単独世帯の増加、認知症の増加に対応できるサービス、見守りシステムの機能強化**

- ・ 認知症対応のスキルアップ
- ・ 関係団体、民生委員、地域住民などによる見守りネットワーク

## 3. **自助・共助・互助・公助の役割分担と有機的連携**

サービス事業所、関係団体、民生委員、インフォーマルサービス、生活支援サポーター、地域住民によるネットワーク

# ケアカンファレンスの積極的な開催

- 入院中の状況を把握する場
- 介護支援専門員及びサービス担当等と患者情報の共有
- 多職種協働（専門的意見）によるサービスの決定
- ケアプラン作成のための共通認識を得る場所
- 各段階（入院時、途中経過、退院時、在宅サービス提供時、更新時、利用者の変化）で開催することにより明確なゴール設定を行い早期に在宅復帰への支援を行う
- ケースによってはケアマネジャーと同行して退院前訪問指導を行う

※4月～2月までのケアカンファレンス開催回数329件

※4月～2月までの地域医療連携室への実相談件数約430件

# 病棟及び在宅でのカンファレンスの様子



2013/1/8



薬剤師

開業医

地域包括のスタッフ

開業医の看護師  
兼ケアマネジャー

家族

訪問看護ステーションの看護師

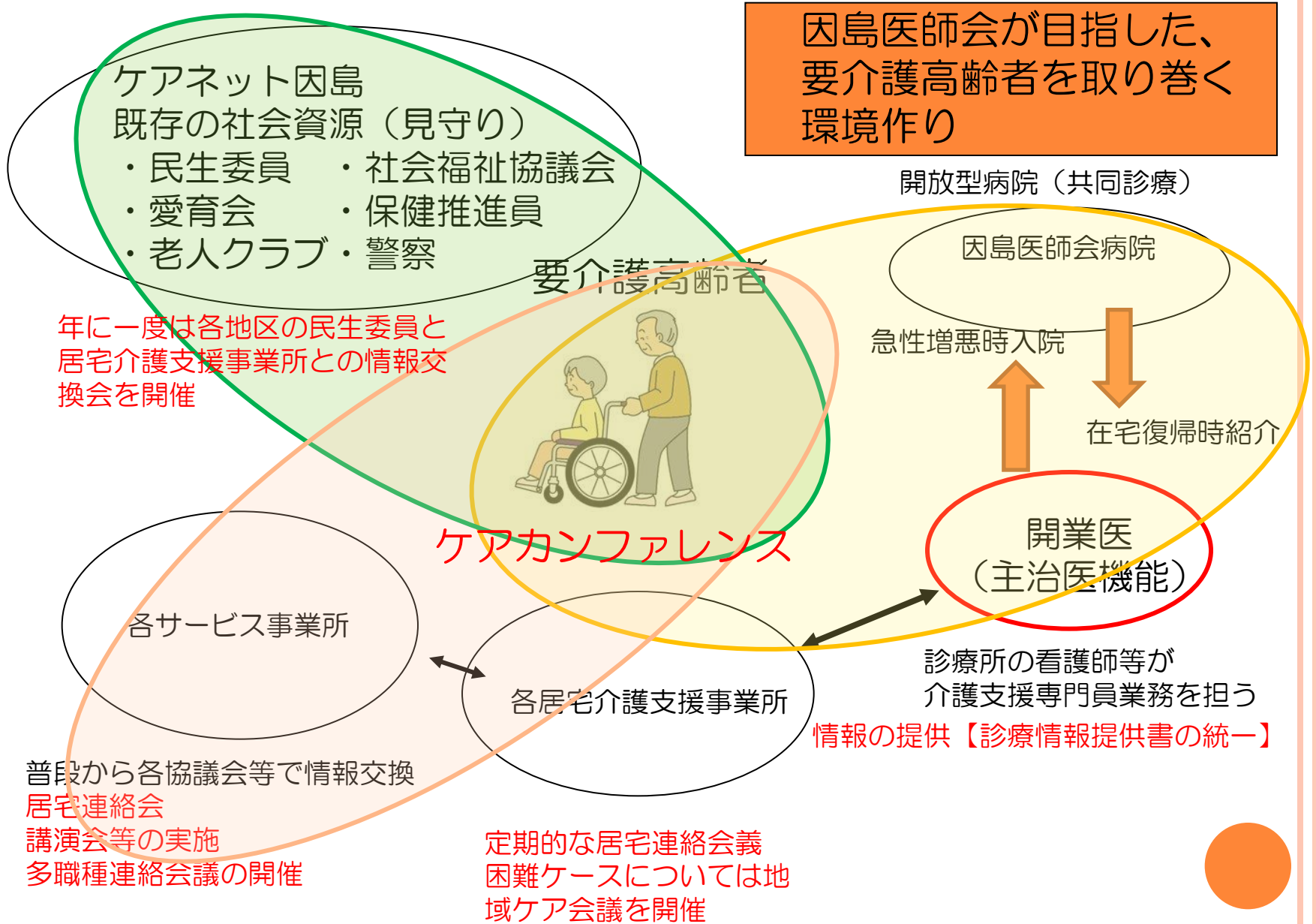
2013/1/11

# 尾道市南部地域包括支援センター（因島医師会受託） 機能活用による連携

- 地域ケア会議の開催
- 居宅連絡会義の定期開催
- 主任ケアマネジャーとの連携による困難事例の支援
- 各サービス事業所との連絡協議会
  - ・ 介護支援専門員連絡協議会（尾道市と合併）
  - ・ ヘルパー連絡協議会
  - ・ 尾三因医師会立訪問看護ステーション連絡協議会
- 多職種連携会議の共催（今年度4回開催）
- 各種研修会・講演会の共催
- 地域住民への広報
- 民生委員と地域ごとに情報交換会（見守り体制強化）



# 「因島地域における地域包括ケアシステムのイメージ」



# 大規模災害時の対策について

- 在宅医療連携拠点事業・運営協議会にて検討
- 因島医師会大規模災害対策、行動ルールを策定
  - ・ 大規模災害時の連絡体制
  - ・ 医療救護活動における役割分担
- 因島医師会病院及び当地区の医療機関へ周知した。



## まとめ

1. 地域住民への啓発や多職種連携会議など在宅医療連携拠点事業の取組で地域包括ケアを推進することができた。
2. 当地域は島嶼部におけるモデルケースであり、当地域の規模であれば顔の見える連携がとりやすい。
3. 市町村及び地域包括支援センターとの連携が必須である。
4. 在宅医療連携拠点事業を継続して行っていくことで顔の見える連携がさらに深まっていくと思われる。

